

**“もったいない”
がみえてくる
2泊3日のカレー作り**

関西大学 Bhutan

プラン発案の動機

私たちは殺された肉を食べているという知識は誰にでもあるけれど、それを忘れてしまっている人が多いと思う。命について考えるきっかけを作りたいと思い、このプランを発案した。

大学の講義で食肉工場の映像を見る機会があり、今まで食と命について考えさせられる機会が少なかったことに気が付いた。それをきっかけに飽食の時代に食を見直す体験型の食育を設けたいと思った。



だちょうカレー？

プランの行動計画

5月 農業体験が可能な農家さん・見学可能な食肉加工センターを探す（JA 大阪中央会「やるやん！大阪農業」にご登録の農家さん・公益財団法人 加古川食肉公社を検討）。

6月 宿泊先の手配（関西大学の施設を検討）。

バスの手配（関西大学のバスを検討）。

7月 参加者の募集。

8月上旬～中旬 プラン実施。

1日目。	午後。	事前学習（①自己紹介・グループ分け ②プランについての予定説明 ③食品ロスについて学ぶ）。
。	。	夕食・就寝。
2日目。	午前。	農業体験。
。	午後。	食肉加工センターにて見学。
。	。	夕食・意見交換（その日感じたことや疑問に思ったことなどを話し合う）。
3日目。	午前 10 時。	グループ内でどのようなカレーを作るか話し合い、材料を買いに行く。
。	午前 11 時。	カレー作り・実食。
。	午後 1 時。	カレーを作る際に工夫した点やこの 3 日で学んだことをグループごとに自由に発表。

1日目（事前学習）

- SDGsと食品ロスについて

SDGsってなに？

食べ物が食卓に運ばれるまでの過程を考える
企業、家庭内の食品ロスの問題点

- グループでのディスカッション

ヴィーガンについて、食べる者の責任について、
畜産のあり方について議論する

学習参考資料

- 『いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日』
- 『カレーライスを一から作る』
- 消費者庁消費者政策課食品ロス削減関係参考資料

2日目（農業体験・工場見学）

- JA大阪府農業協同組合中央会
「都市農業、挑戦の記録。やるやん！大阪農業」
<https://yaruyan.osaka/>
- 公益財団法人加古川食肉公社

3日目（カレー作り・グループ発表）

- グループで相談し合い、協力してカレーを作る
- 自分たちでテーマ設定をし、それについてグループで自由に発表をする（例：食の消費のあり方について、都市農業について等）

関連するゴール

2 飢餓を
ゼロに



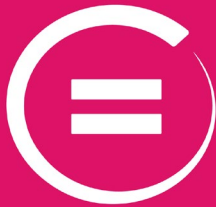
4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



17 パートナリープで
目標を達成しよう



